

2023年度 第3回講演会 参加者アンケート集計結果

アンケート集計条件 (講演会実施日：2023年10月21日)

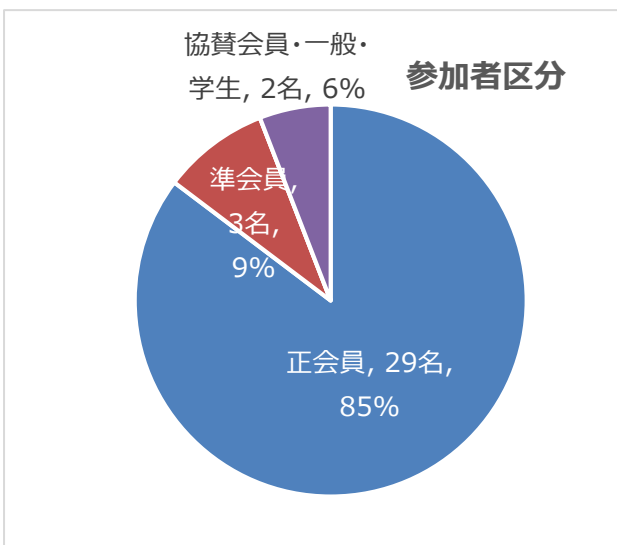
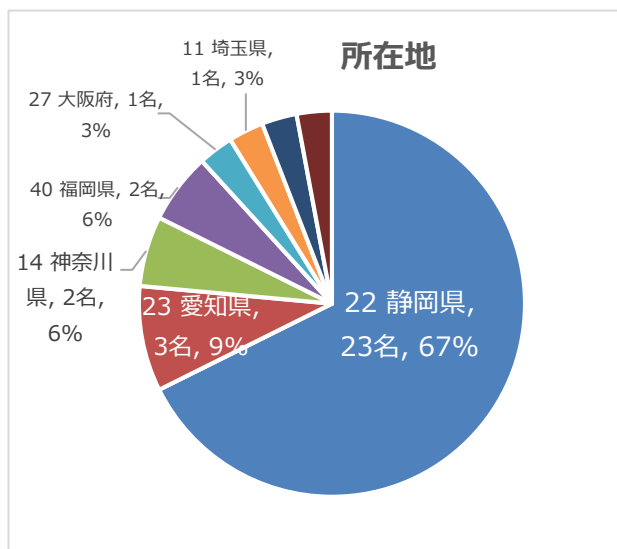
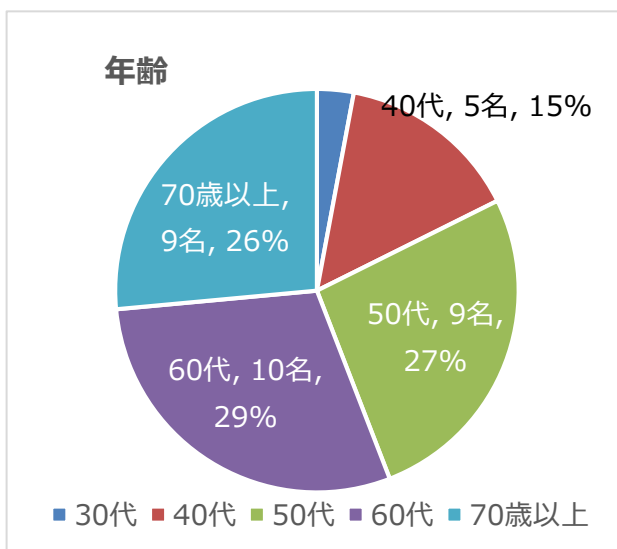
アンケート回収方法： Google フォームを活用した Web 経由による回収

アンケート回収期間： 2023年10月22日から10月30日(9日間)

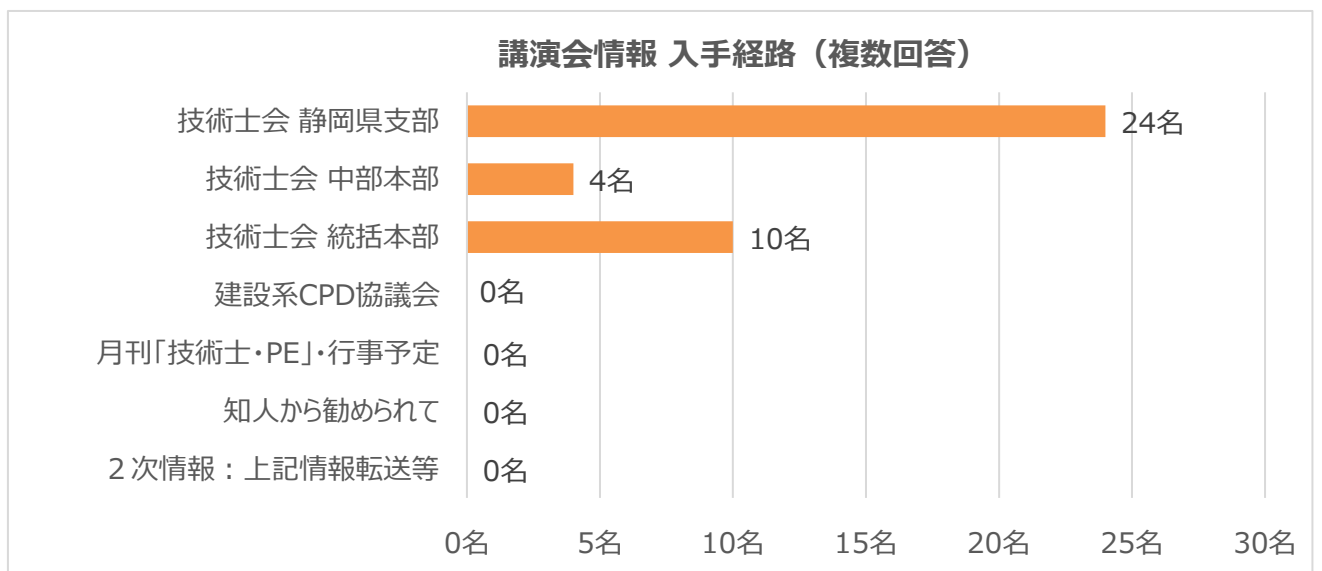
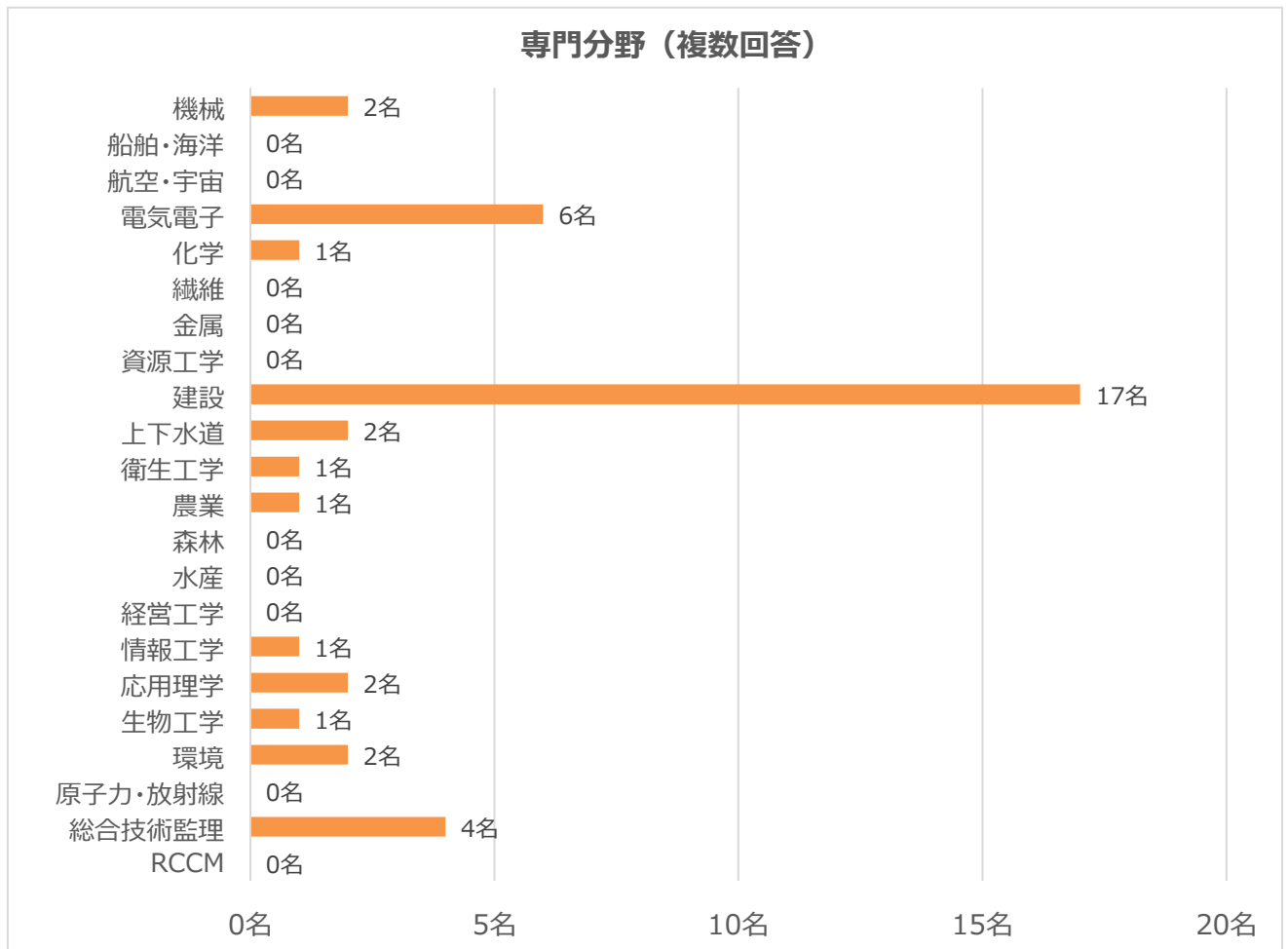
アンケート回収件数： 34名(重複回答を除く)

アンケート回収率： 76%(講演会参加者45名)

講演会 参加者情報

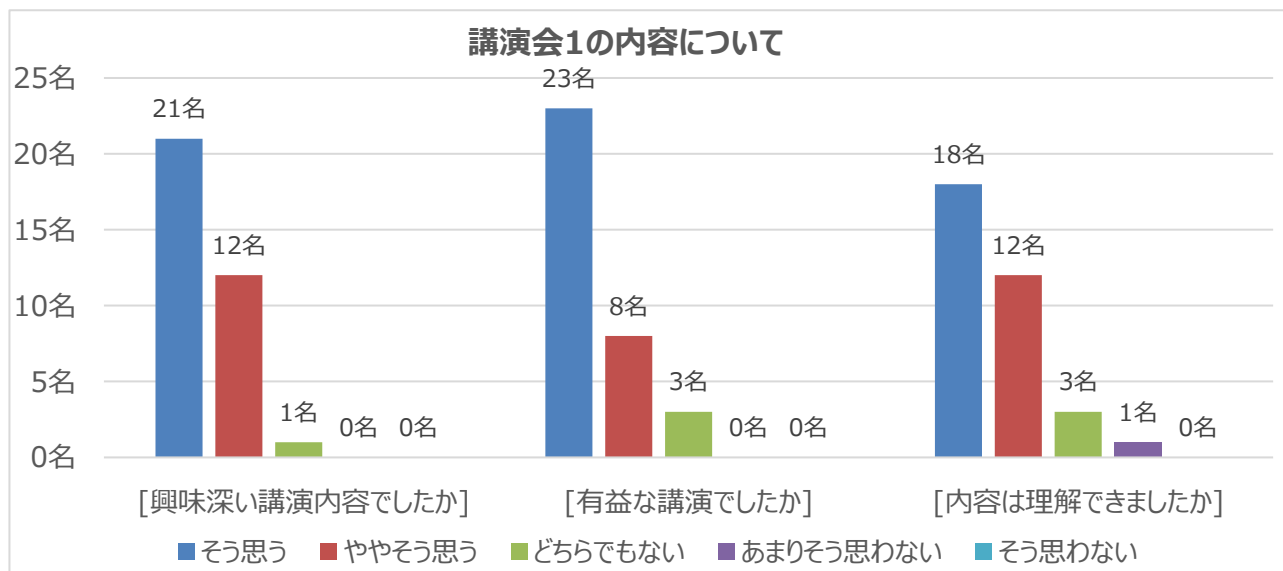


講演会 参加者情報

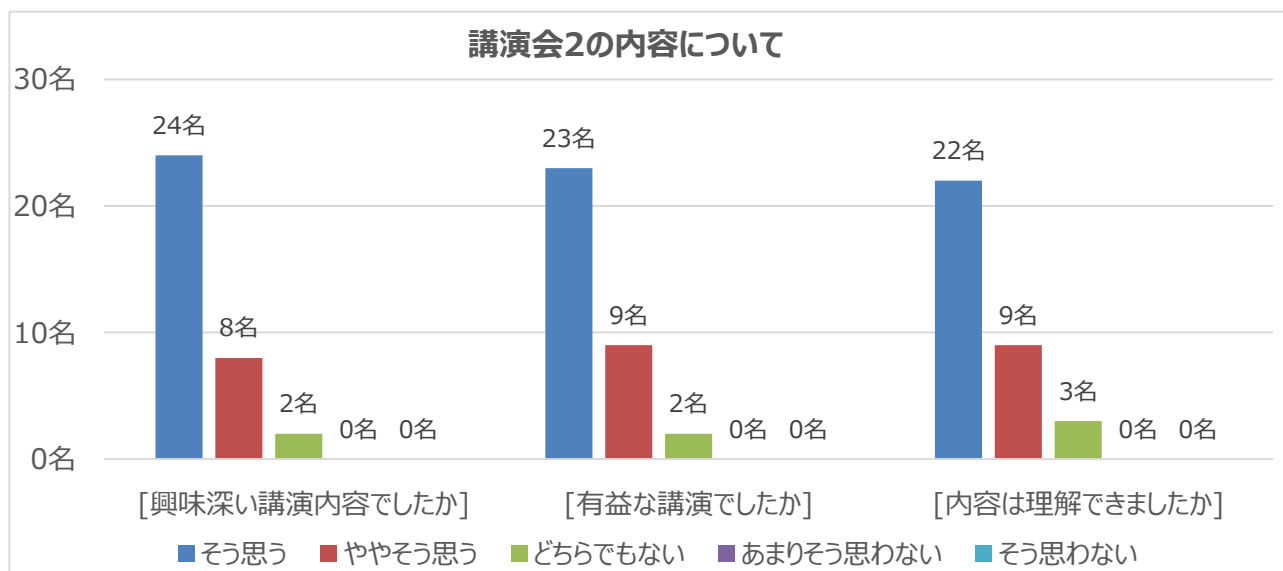


講演会の内容について（参加者のコメントは別紙①参照）

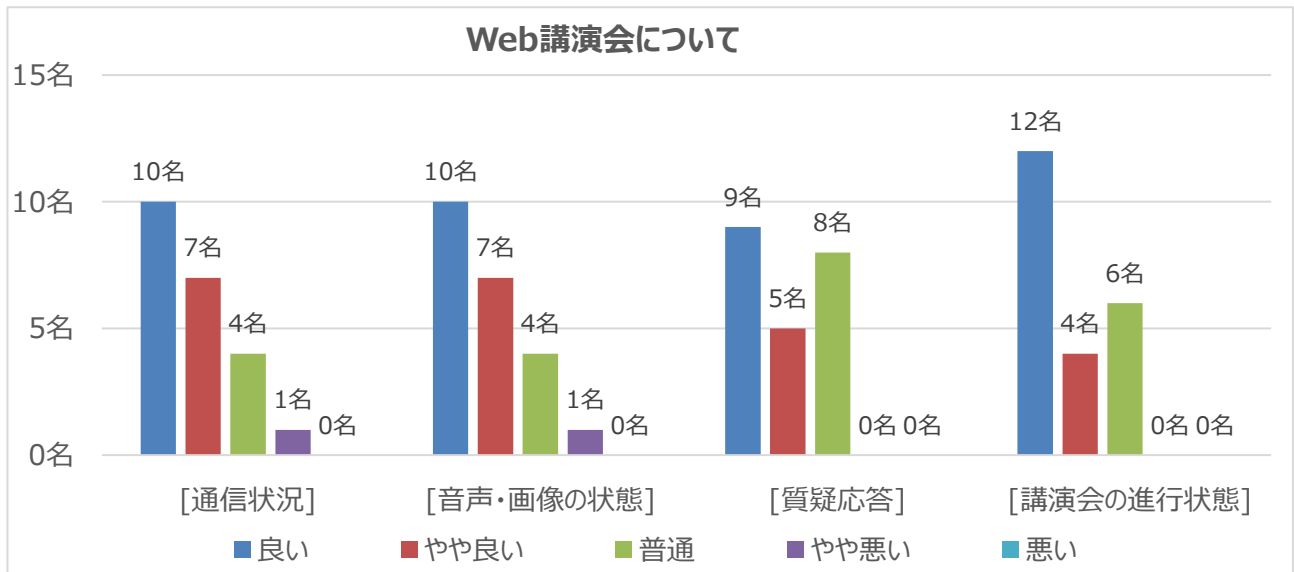
講演 1 「静岡の砂防史 120 年」



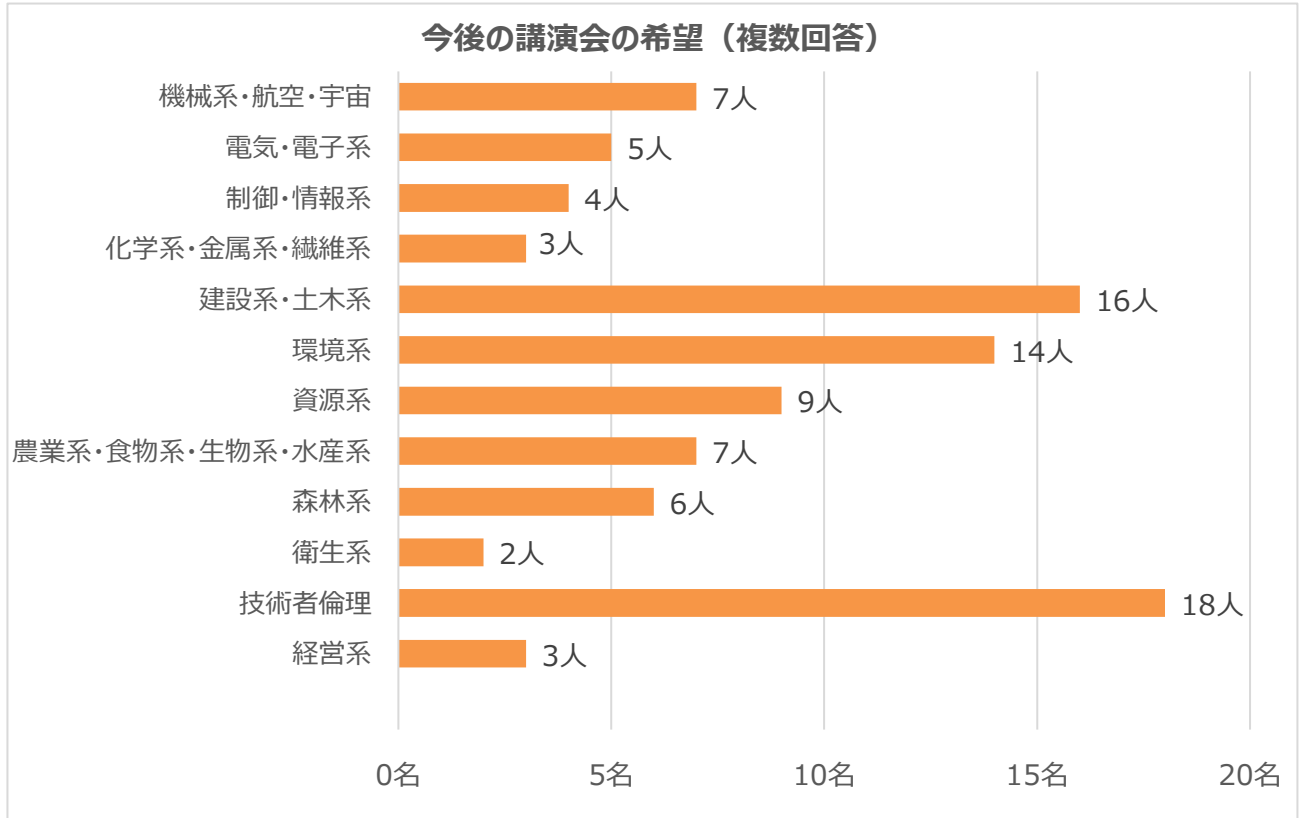
講演 2 「地震による液状化と複合災害」



Web 講演会について



今後の講演会の希望



別紙①-1 講演 1 「静岡の砂防史 120 年」 コメント (18 件)

- 災害と地形との関係やどのようなメカニズムにより発生するのかを理解する上において参考となりました。
- 静岡県で暮らす上で大事なお話だと思います。
- 大変参考になりました
- 土木分野では「盛土(もりど)」と表現されるところを報道で「盛り土(もりつち)」と言っていた意味など有意義な講演でした。
- 興味ある内容で参考になりました。
- たくさんの分かりやすい資料をありがとうございます。住民ができる事などあれば次の機会にお伺いしたいです。危険なエリアに住まないことが一番だとしても、昔から住んでおり、気候危機が後から発生しているとか、産廃の管理について住民ができることがあったのかなど。
- 講演の終盤に簡単な紹介があった天井川解消事業について、次回は詳しく聴いてみたい。
- 具体的な内容で大変勉強になりました。
- 災害発生件数は、災害予防対策の効果があるものの、気候変動の悪化に伴い増加しかつ大規模となる傾向にあることを再認識しました。短時間降雨よりも連続長時間降雨の場合の方が大災害に結び付きやすい。熱海の土石流大災害において盛土の崩壊のメカニズムの解明が進んでいる。ジオアジアを活用した供試体の状態の時間変化を追って実態レベルで土が崩れるメカニズムが分かりやすくなった等、とても勉強になりました。
- 静岡県の砂防技術を途上国に展開していただけると嬉しいです
- 静岡の砂防史、概ね頭に入っていました、最新情報も含まれており、有意義でした。
- 砂防法が明治 30 年からあるとは再認識した。特に熱海伊豆山地区の土石流に逢初川の縦横断関係の堆積土砂の堆積関係や逢初川、鳴沢川、壱山川等の位置関係が分かり再現解析等も見せて頂き良く分かった。
- 熱海の土石流について、話が聞け参考になりました。いただいた資料を見るのが楽しみです。
- 説明資料（配付資料もスクリーンに映し出される資料も）ほとんど見えなかった
- ホットな話題である逢初川土石流の原因究明について、県担当者から直接説明頂けて、よく理解できてよかったです。
- 資料を先に頂きたかった
- 講演内容は大変興味深いものであり、有益であった。講演資料の文字が小さかったり、ページを飛んだ説明になったりしたことは残念であった。
- 砂防に関わる方の熱い思いを伺うことができました。

別紙①-2 講演 2 「地震による液状化と複合災害」 コメント (16件)

- 東海沖地震が来ると言われて何十年も経過しています。発生リスクも年々増しており、心しておかなければいけないと真剣に思うようになりました。リスクへの対応も含め、とても参考になりました。
- 地震による液状化の被害がピンと来ない部分もありますが、やはり対策を考えておかなければならないことであると感じました。
- 少し難しいと感じました
- 避難路が液状化したらなど「地震による液状化と複合災害」と防災について有意義な講演でした。
- 複合災害のリスク管理をどう行っていくのか、が現在世の中に要求されていることだと思いました。
- 身近な地域の地盤が気になりました
- 改めて液状化のリスクについて学ぶことができました。貴重な写真も勉強になりました。
- 遠隔受講で音声小さくボリュームを最大にしても聴き取りにくかった。講演 1 のほうは問題なく聴けていた。
- 具体的な内容で大変勉強になりました。
- 人工的な要因が主原因で共振が起こり、建物等が安定を失って崩壊する。液状化の場合は沈下や支持力の低下の喪失により建物等の崩壊の仕方が非液状化の場合と比較して異なる。噴砂が発生したとき地表面に存在する重量物が上方へ押し上げられる現象を引き起こす。耐震設計、性能設計が実施されていること等、多くの内容を勉強することが出来ました。
- 講演後、自宅の液状化マップを見て、少し安心しました。
- 葉ざらざマップによると、自宅が液状化の可能性が高いところなので、大変参考になった。南海トラフ地震が発生した後、できれば自悪避難を指定と考えているが、やや難しいのではないかと感じた。
- 講師のおっしゃる通り人命に直接かわることは少ないが、長期に日常生活に支障を及ぼす災害である。健康被害がでる 0.6 度の復元工事はほぼ無理である。液状化が生じた状態での歩行や自転車走行の実験は避難等に参考になった。
- 業務等で液状化対策と特化した経験がないので、写真等は参考になりました。
- 大学での研究では事象を細分化してとらえがちであるが、災害は複数の要素が絡み合って甚大な被害となる。このような複合的な内容こそ技術士会で取り上げる内容だと思った。
- 今後起きる東南海地震に対する備えとして、液状化について知見を深めることができた。

別紙② その他・全体コメント（14件）

- 地盤災害について興味深い内容でした、災害対策についてもお聴きしたかった。
- 毎回ありがとうございます。
- 今のままで良いかと思えます。
- 特にありません
- WEB聴講用の資料配布があるとよいと思いました。また県の杉本参事の講義ですが、画面をスクロールする場面があり、少々目が回りました。ジェットコースターに寄せられたような感じを受けたのは私だけでしょうか？
- 土曜日の午前中開催は難しいでしょうか
- Web 聴講を希望します。
- 講演内容：厳選されていて大変ためになりました。開催日時：今のままで良いと思えます。場所：遠隔地からも参加できる WEB 講演は大変ありがたいです。ありがとうございました。
- ハイブリッド開催は、とてもありがたい方式と思えます。
- 学生(無料)への参加を大学等を通じて、更に PR していただけると嬉しいです。
- 今回 2 編とも建設系の講演でしたが、異なる分野のこうえんをくみあわせるのもよいかと思えます。
- Web 開催は、講演場所への移動時間がはぶけるので、大変ありがたい。できれば、引き続き Web 開催を続けてほしいと思えます。
- 当日のチャットのアンケートも提出してあり上記のコメントは同じではない。
- パソコンの操作の手違いで、最初音声小さく聞き取りできなかったですが、音量を調整することにより、対応できました。以前別の講座で、音声聞き取りにくかった時、文字表示の出る講座があり、文字表示だけで対応したことがありました。
- Web 併用の開催のため、参加しやすい形態になっています。

たくさんの貴重なご意見ご要望を寄せていただきました。

本項で頂いた貴重なご意見、ご要望は今後の例会運営の参考とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

以上